

インターバンクの声（2014年12月3日）

年末この時期には恒例だが、それでも今年はやけにその数が多いと思っていた米連邦公開市場委員会（FOMC）メンバーによる講演日程。金曜日に雇用統計の発表も控えていることでもあるし、特段ここから相場を動かすような発言は飛び出しやしないと高を括っていたが、どうして今年就任したフィッシャー副議長やダドリー・ニューヨーク連銀総裁の昨日の講演内容にドルが一段高となった。それにしてもフィッシャー副議長の発言はストレートな場合が多く、昨日も低金利を『相当な期間』維持するとの文言を当局が削除する時期が近づいていることを示唆し、さすがに「次回（12月16－17日）会合で私と同僚が何をするかについて推測するのは適切ではない」と付け加えたようだがインパクトはそれなりに大きくなってしまった。とにかく利上げの指針として経済指標を重視するようなので、雇用統計の数字が市場予想を上回ってくるようなら利上げに関する話題が再び盛り上がることになりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。